

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

学校名	鳥栖市立若葉小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の生命を尊重する心、他者への思いやりを育て、いじめが起これにくい集団づくりに継続して取り組み、児童が安心して過ごせる学校づくりを目指していく。 ・ 積極的に児童の主体的な態度に対する承認・称賛を行い、学校・家庭・地域と連携して、児童の自己肯定感を高めていく。 ・ 令和3年度はタブレット型端末を活用した授業を手探りながらも始めている。令和4年度は「1人1台端末を活用した授業改善研究」の指定を受けたので、先進的な取組を参考にしながらあらゆる可能性を目指した指導の工夫を推進して、授業公開に臨む。 ・ 令和4年度は、令和3年度より特別支援学級は2クラス減になるが在籍児童は3人減で人数はほぼ変わらない。1クラスあたりの人数が増えることになるので、特別支援学級や通常学級、管理職等の連携をさらに深めていく。
2 学校教育目標	<p>「美しい心もち 自分で考え やりぬく子」の育成</p> <p>～ 元気いっぱい 笑顔かがやく 若葉っ子 ～</p>
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 若葉授業（共通の指導・実践）と家庭学習習慣の定着による確かな学びの積み上げ ② 心の教育（道徳、人権・同和教育、UD教育、学級活動）による自己有用感の高まりと豊かな心の育成 ③ 出番・役割の設定→承認・称賛と共通の指導による規範意識・判断力、主体的な態度の育成 ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた新しい学校での生活様式の定着

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校で共通の学習スタイルと学び方指導を明確にし、全学級で「若葉授業」に取り組み。 ・ 主体的・多面的に学力を伸ばすために、授業の中で児童相互に主体的対話的に関わりあう「友達タイム」を活用する。 ・ スキルタイムでは、基礎・基本を中心に適時各学年で吟味し、高学年では活用力に関わる問題にも取り組ませる。 ・ 校内研究でユニバーサルデザインの視点に基づいた学習環境・授業づくりを目指す。 							<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上対策コーディネーター ・ 研究主任
	○タブレット端末等を使った授業実践による学力の定着	○タブレット端末を効果的に授業で活用している教師90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末を効果的に活用した授業づくりに取り組み、研究授業や公開授業を行っていく。 							<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上対策コーディネーター ・ 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別の教科道徳の授業で考えたことを生活に生かそうとする児童を90%以上にする。 ○相手が良い、心地良いと感じる言葉や行動について考えることができる児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の授業の終末に振り返りを行い、実践につなげる。 ・ 「ほめほめカード」や「がんばったカード」に自他の良さを認めて褒め、称賛する。学校内だけでなく、地域や家庭にも参加してもらう。 ・ 「ふあふあ言葉」をクラス毎に考え意識して使っていく。 							<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育推進教師 ・ 人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校独自成果指標・記載例を参考にしてください。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ Q-Uを年2回実施し、その結果をよりよい集団づくりを意識した学級経営に生かす。 ・ 「いじめ・いのちを考える日」に、児童は毎月、保護者は学期毎にアンケートを行い、個人の悩みやいじめの早期発見・対応を行う。 							生徒指導
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間を増やすために、休み時間等で外遊びをする児童を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育委員会が「クラスマッチ」を企画することで、運動をする機会を増やし、より参加人数を増やす。 ・ 学級で「元気タイム」を設定したり、晴れの日に外遊びの声かけをしたりすることで運動場に出る機会を増やす。 ・ リレーカーニバルや水泳大会・なわとび大会などの体育的行事を行い、体力の向上を図る。 ・ 各クラススポーツチャレンジに積極的に参加する。 							<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育主任 ・ 食育担当 ・ 養護教諭
	○望ましい生活習慣の形成	○自分から進んであいさつをしている児童の割合80%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の生活目標を「あいさつにあふれ、落ち着きのある学校にしよう」とし、「言葉の「あかるく・いつでも・さきに・つづけて」の周知・徹底を図る。 ・ あいさつについて学期ごとの具体的な目標を示す。 ・ 児童会・PTAが連携した朝のあいさつ運動を展開する。 ・ 年に2回生活点検を行い、生活習慣の見直しを行う。 ・ 毎週金曜日を定時運動日とし、それを逆算して仕事を効率的に行うよう意識づけを行う。 ・ 超過勤務時間が毎月平均30時間以内 ・ 勤務の効率化を行うために、職場環境の整備や学校行事の見直しを行う。 ・ 休業中の年休取得日数を具体的に示す。 							<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育主任 ・ 食育担当 ・ 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週金曜日を定時運動日とし、それを逆算して仕事を効率的に行うよう意識づけを行う。 ・ 超過勤務時間が毎月平均30時間以内 ・ 勤務の効率化を行うために、職場環境の整備や学校行事の見直しを行う。 ・ 休業中の年休取得日数を具体的に示す。 							管理職(教頭)
	○業務の改善、軽減化 ○年次休暇取得の啓発	○職場環境の整備、学校行事の改善をする。 ○各職員の年休取得日数が昨年度+3を目指す。								管理職(教頭)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や地域の方々への理解を図るために、全学級で年間を通して1回以上、授業参観等を実践する。 ・ 教科「日本語」の学習内容等を学級通信等で知らせる。 							日本語主任
○主体的な態度の育成	○学級活動や学校行事等子どもの出番・役割の設定 ○学級会を主軸に置く特別活動の取組	○学校行事の準備や計画、進行などを児童にまかせ、できるだけ多く子どもの出番・役割を設定し、主体的な取り組みをしているという児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表委員会を通して児童の思いを反映させた取り組みを行う。 ・ 集会や児童朝会、運動会の進行や準備などで子どもの出番・役割を設定し、主体的に活動に取り組みさせる。 ・ 縦割り班での縦割り活動やあいさつ運動を年間を通して行い、児童に計画・立案・運営させる。 ・ 常に考える教育を推進し、小集団での話し合い 							特活主任
○自己有用感の向上	○学校・家庭・地域一体となって承認・賞賛する開発的な関わり	○自分や友だちのよさに目をむけ、承認・称賛する取り組みを通して自己肯定感を高めていき、保護者アンケートで、承認・称賛することで温かな環境づくりに取り組んでいるという割合を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ほめほめカード」や「がんばったカード」に学校・家庭で取り組み、本校2階のきらきら通りに掲示すると共に温かな環境づくりに努める。教師の積極的なカードの取組を促す。 ・ PTAとの連携を図り、心豊かな教育講演会を実施する。 ・ 全学級、シートで友達の承認・称賛のコーナーを設け、取り組む。 							教務主任

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--